

神戸の魅力を発信！！課題を提案！！

観光・経済・行政

○「日本一のロケの街」を目指します！！

決算議会
質疑のポイント

- ☑ 映像コンテンツの誘致・撮影支援を実施してきた『神戸フィルムオフィス』は、昨年度は「シティ・ハンター」などの165作品をサポートし、その直接経済効果が4億円を超えた。
- ☑ NHK連続テレビ小説「おむすび」では、阪神・淡路の震災から復興していく神戸が舞台の1つとなり、灘区の商店街がロケ地となっている。
- ☑ 神戸が「日本一のロケの街」になるためには、予算の増額や運営体制の強化が必要であると考えがどうか。

平成12年設立の『神戸フィルムオフィス』は、幅広いネットワークを活用した誘致活動と、きめ細かな支援サービスが高く評価され、令和5年度末までに3,763件の映画、ドラマ、CMなどの撮影が実現をした。映画のまち神戸としてのPRが図られ、神戸の観光誘客や神戸経済の活性化に寄与してきたと評価をしている。

また、神戸でのロケ撮影を支援するロケーションハンティング助成や、神戸が舞台の作品を台本制作段階から支援するシナリオハンティング助成などを活用している。

神戸市としても、このような活動が継続できるように引き続き支援していく。



▶ロケ地になった商店街

○神戸市における公益通報制度は機能しているのか？！

「公益通報」とは、事業者内部の法令違反行為について、処分等を行う権限がある行政機関や報道機関等の事業者外部のいずれかに、所定の要件を満たして通報するものである。

兵庫県では、この「公益通報」の対応をきっかけに大きな混乱が生じている。

(神戸市の近年の運用状況および過去の制度改革について質疑)

受付件数や是正に関する状況を市のホームページで公表し、例年、約10件から20件の通報を受理し調査を行っており、一部、是正につながっているようである。

また、組織の自浄作用が正常に機能する制度となるよう、**窓口を外部の弁護士に一元化し、通報者の情報が外部窓口限りとなり通報者が特定できない仕組み**である。

調査では、新たに採用した庁内弁護士を中心に、その指揮の下で行財政局が独立的に実施する。内部通報制度が職員にとって利用しやすく、適正に機能するよう取り組んでいく、とのこと。

教育・子育ての充実を！！

教育・子育て

○教員の人材確保を目指します！！

教員の人材確保やメンタルヘルスケアについては、非常に重要な課題であります。新規採用を含む若手教員は当然のこと、現場の中心となるべき、中堅どころの教員が辞めないような対策をきっちり講じるべきです。

脆弱な「産業保健体制」の強化をすべきと質疑しました。

また、令和4年度からペーパーティーチャー等を対象とした研修である「KOBE教員スタートプログラム」を行っていますが取組状況と成果についても、質疑しました。



○部活動の「KOBE◆KATSU」への移行はどうか？

部活動の「KOBE◆KATSU」への移行については、制度設計がしっかりとされ、生徒・教員・保護者が納得できる形になれば、私は教員経験者として賛成の立場です。

2026年9月の移行時に **中学1年生や2年生の生徒たち、現在の小学5年生、6年生の子たちへフォーカスを当てて質疑**しました。

学校の部活動から地域クラブへと、チームや体制が大きく変わることを経験する移行期の生徒たちが、意欲を低下させることがないように、細心の注意を払って、フォローしていく必要があります。

現行の中学校部活動についても充実させるとともに、指導する教員の自己負担軽減をすべきであると、質疑しました。

▶神戸市総体での審判のお手伝い



○すべての子どもたちの未来を応援！！

新設されてから4年目を迎えた「子ども未来課」の課題点および実績と、経済的な事情により学習機会を十分に得られない中学生を対象に、無償の学習支援を行う「**学びへつなぐ地域型学習支援**」について、質疑しました。



○産後ケア事業の充実を！！

令和5年度の産後ケア事業利用者数は、宿泊型、通所型、訪問型のいずれも前年度実績から増加しています。産後ケア事業に関する成果と施設への財政的な支援等について、質疑しました。